



注：平成27年4月に始まった、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、自治体が生活困窮者を各種事業で支援する制度。事業には、自治体に実施を義務付ける「必須事業」と、自治体に実施の判断を委ねる「任意事業」とがある。

## 福祉・医療・保健

### 就労準備支援事業の実施を求める



宮田 真美 議員

生活困窮者の自立のためには、就労に向けた長期的で丁寧な支援と家族への支援、そして就労後のフォローも大切である。しかし本市では、生活困窮者自立支援制度の任意事業である就労準備支援事業を実施しておらず、就労に向けて心と体の準備を整えるための支援が手薄になっている。市民に寄り添い、就労準備支援事業を実施してほしい。

**答** 就労準備支援事業については、生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上など就労に向けた重要な事業であると認識している。平成31年度中に課題を明確にするため、関係機関との協議を進めていきたい。



## 福祉・医療・保健

### 本市での児童虐待の状況



古閑森 秀幸 議員

児童虐待による死亡事件が発生し、繰り返されるこの種の虐待事件については大変悲しいものがある。本市における児童虐待の状況はどのようになっているのか。

**答** 本市の児童虐待への対応件数は、平成29年度で13件、平成28年度に比べて4件減少している。内訳は、心理的虐待が6件、身体的虐待が4件、保護の怠慢・拒否に当たるネグレクトが2件、性的虐待が1件である。



## 教育・文化・スポーツ

### ミライon図書館の内覧会について



小林 史政 議員

ミライon図書館の完成を記念して、NHKの巡回ラジオ体操を新図書館駐車場にて開催し、その後に新図書館の内覧会を行うとの説明があった。しかし、開催予定日の8月16日は金曜日であるため、その後内覧会に行きたくても、仕事などで行けない方が多いと考える。この際、16日（金）から18日（日）までの3日間で内覧会を開催すべきと考えるが、どうか。

**答** 内覧会の開催日については、8月16日（金）の巡回ラジオ体操当日や、8月17日（土）・18日（日）、夏休みの部分開館時も含め、10月5日のオープンに支障が出ないように、県と協議していきたい。



## 産業・経済・労働

### 新工業団地へは優良企業を誘致すべきだ



水上 亨 議員

新工業団地造成工事は、関連工事費を含め約31億円の巨費を投じて3月末に完成する。市長は、4月の分譲開始と同時に完売を目指すとの答弁を繰り返していたが、V・ファーレン長崎のサッカー練習場への転用を模索している。市は、これまでの基本計画どおり1,000人の雇用と3,000人の人口増加を図るため、企業誘致へ全力を傾注すべきだ。

**答** V・ファーレン長崎の新練習拠点について、本市としては黒丸町の総合運動公園の一部を候補地として関心を示していた。しかし、ジャパネットホールディングスとの協議を進める中で、新工業団地を候補地に絞り協議を継続することになった。その過程で市は、市内の複数の土地を候補地として提案している。

